記念館新聞

福崎町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原
1038 の 12
電話：0790-22-1000

福崎町と遠野市が友好都市締結！

8 月 23 日（土）に、遠野市のあえりあ遠野交流ホールで、兵庫県福崎町と岩手県遠野市との友好都市共同宣言調印式が行われます。

福崎町と遠野市は、これまでもさまざまな事業を通して交流を続けてきました。

近年では、柳田國男 50 年祭（第 32 回山桃忌）に遠野市長が出席されました。そして、第 33 回山桃忌では「東北応援企画映画祭」を開催し、遠野市から借用した「遠野物語」のフィルムを上映しました。

このたびの調印式会場では、福崎町と松岡五兄弟を紹介するパネル展示を行います。

そして、11 月の福崎秋まつりには、遠野市によるパネル展示と物産展が行われる予定です。

今後も福崎町と遠野市は、友好関係を深めていきます。

井上通泰の墓

井上通泰の墓

井上通泰は、昭和 16 年（1941）8 月 15 日に 76 歳で生涯を閉じました。

遺骨の一部は、ふるさとである福崎町西治の観音寺に納められています。観音寺は井上家の菩提寺です。

観音寺

井上通泰の晩年のようすについては、『広報ふくさき』8 月号に掲載されていますので、ご参照ください。

名作著書紹介

故郷七十年を読む

明治 26 年（1893）2 月に、鼎は茨城県北相馬郡布川町（現北相馬郡利根町布川）から千葉県南相馬郡布佐町（現我孫子市布佐）に移り住みます。

『故郷七十年』では、「兄は布川に永住する気は最初からなく、ある程度の産を成した上で帰郷する心積りであった。ところが借りていた家はその身内の人が移住してくるというので、とりあえず布佐へ移ったのが、そのまま兄の墳墓の地となり、同地に家族が永住することになってしまった」と記しています。

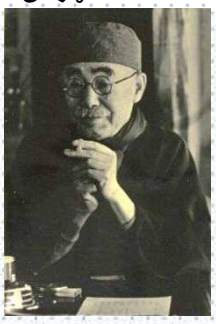
鼎は布佐で「凌雲堂医院」を開業し、亡くなるまでの 41 年間、医者だけでなく地方政治家としても活躍しました。

凌雲堂医院であった鼎宅

ちょっと 國男の雑学

下の写真は、國男が手にタバコを持っているところです。

國男は愛煙家として知られています。



柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆

☆開館時間
9 時～16 時 30 分
（入館は 16 時まで）

☆休館日
月曜、祝日の翌日
12 月 28 日～1 月 4 日

☆入館料
無　料

館日記

第 1 回柳田國男検定を、8 月 3 日（日）に実施します。おかげさまで、幅広い年代のみなさんにお申し込みをいただきました。

初級編に合格された方は、来年、中級編に挑戦いただきますことを、楽しみにしています。

そして、昨年度福崎町で創設した柳田國男ふるさと賞が 2 回目を迎えます。

1 回目では、多くの力作が集まりました。

ぜひ、この夏休みを利用して、福崎町の歴史と文化を調査し、まとめてください。

そして、柳田國男ふるさと賞へのご応募をお待ちしております。